

## 取締役、監査役、執行役員の内定等について

明治生命保険相互会社（社長 金子 亮太郎）と安田生命保険相互会社（社長 宮本 三喜彦）は、新会社「明治安田生命」の合併期日における取締役、監査役、執行役員について、以下のとおり内定いたしましたので、ここにお知らせいたします。なお、5月29日発表の「明治生命と安田生命の合併契約締結について」でお知らせいたしました「合併期日に就任すべき取締役、監査役」も併せて記載しております。

併せて、合併に向けた準備作業の進捗状況についてもお知らせいたします。

### 1. 「明治安田生命」の経営体制

#### (1) 迅速な意思決定体制

拡大する経営資源を業界トップレベルの組織生産性によって展開すべく、経営効率化に取り組んでまいりますが、取締役会の迅速な意思決定体制を実現いたします。

現在、明治生命、安田生命の定款上の取締役の員数は、共に30人以内としておりますが、「明治安田生命」は取締役の員数を25人以内とする予定です。

これに伴い、本年4月1日現在の取締役数は明治生命23人、安田生命21人の合計44人ですが、合併期日におきまして、これを半減させ22人とする予定です。

#### (2) 監査体制の強化

2006年3月期より適用される2001年12月の商法特例法改正に対応し、合併を機に、監査役の取締役会からの独立性を高め、監査機能を強化する観点から、監査役総数を5人、社外監査役を3人とし、過半数を社外監査役とする予定です。

#### (3) 執行役員制度の導入

業務執行機能を強化する観点から、「明治安田生命」は執行役員制度の導入を予定しております。合併期日において就任する執行役員は11人とする予定です。

### 2. 取締役

合併期日における「明治安田生命」の取締役は、次のとおりとします。

金子亮太郎（現 明治生命取締役社長）	宮本三喜彦（現 安田生命取締役社長）
小澤 祐吉（現 明治生命取締役副社長）	清野 直志（現 安田生命取締役副社長）
秋元 俊雄（現 明治生命専務取締役）	山本 芳夫（現 安田生命専務取締役）
平田 滋（現 明治生命専務取締役）	佐々木郁夫（現 安田生命専務取締役）
岡本 博美（現 明治生命常務取締役）	山田 孝一（現 安田生命常務取締役）
古村 昌人（現 明治生命常務取締役）	西 清二（現 安田生命常務取締役）
岩田 勝三（現 明治生命常務取締役）	関口 憲一（現 安田ライフダイレクト損害保険 取締役社長）
稲垣 龍介（現 明治生命常務取締役）	
松尾 憲治（現 明治生命取締役）	福田 恭一（現 安田生命取締役）

安倍 俊夫（現 明治生命取締役）                      中川 雅弘（現 安田生命取締役）  
上山 一知（現 明治生命理事法務部長）              福家 聖剛（現 安田生命営業企画部長）  
服部 秀昭（現 明治生命法人業務部長）

なお、取締役会長には宮本三喜彦が、取締役社長には金子亮太郎がそれぞれ就任する予定です。

### 3. 監査役

合併期日における「明治安田生命」の監査役は、次のとおりとします。

安藤 豊（現 明治生命常務取締役）                      佐藤 正俊（現 安田生命常務取締役保険計理人）  
岸 暁（現 東京三菱銀行相談役）                      安田 弘（現 安田不動産顧問）  
佐藤 安弘（現 キリンビール会長）

### 4. 執行役員

合併期日における「明治安田生命」の執行役員は、次を予定しております。

葉狩 浩一（現 明治生命常務取締役）                      新田 司志（現 安田生命取締役）  
桃井 邦男（現 明治生命取締役）                      笹野 真民（現 安田生命取締役）  
黒木 増夫（現 明治生命取締役）                      小西 克三（現 安田生命取締役）  
近藤 道夫（現 明治生命取締役）                      重森 豊（現 安田生命取締役）  
塩野崎達雄（現 明治生命取締役）                      池本 眞一（現 安田生命取締役）  
高松 泰治（現 明治生命取締役）

### 5. 合併準備作業の進捗状況について

#### (1) 「業務一体運営」の状況等

2004年1月1日の合併に向けて、両社の制度、規程、組織等を可能な限り整合させ「双子化」を推進しております。

- ① 2003年4月の組織、規程等の改正にあたり部門制の導入、組織名称や所管業務の統一等を実施しました。
- ② 新会社の商品内容のお客さまへのご説明や事務手続き等について万全を期すよう、営業関連や事務サービス関連等の業務を対象とした集合研修やOJT等の教育カリキュラムを両社共同で策定、実施しております。
- ③ 職員の層別集合研修の合同実施等、人材・能力開発の一体運営をすすめております。
- ④ 2003年3月に初めて経営管理職以上の会議である「部長・支社長会議」を合同開催いたしました。今後も継続的に合同開催していく予定です。

#### (2) 商品・サービスの共通化等の状況

- ① 「健康・医療・介護」・「ライフイベント」・「トラベル&エンターテイメント」の3分野のサービスをパッケージ化したお客さま向け新サービス・パッケージ「map」を共同開発、2003年4月よりサービスを開始しております。

- ② 両社共通の営業職員用「携帯パソコン・マイスター」を、明治生命は2002年10月より、安田生命は2002年12月より営業職員等に配備いたしました。
- ③ 両社の商品開発ノウハウ交換の成果として、明治生命は2003年1月に「熱傷」などの保障を追加した総合傷害保障特約「新アクシデント」を、安田生命は2002年11月に公的介護保険制度の要介護認定に支払事由を連動させた大型介護保障の主力商品「健康物語 フルケア」を発売いたしました。
- ④ ユーミンスペクタクル『シャングリラⅡ』（松任谷由実さんのコンサートとロシアのサーカスが一体となったスペクタクルショー）に共同特別協賛しております。

### (3) 事務・システム統合の状況

- ① 両社システムの統合作業は、2002年12月末に主要な開発を終了させ、本年1月から順次テスト工程に移行するなど、順調に進捗しております。この計画は、システム統合までの間に、約9カ月間のテスト・検証期間を、さらに新システムへの移行のための準備期間として約3カ月間を設定するなど、新会社のお客さまサービスの品質確保に向けて万全を期す計画となっております。
- ② また、2003年4月からは、両社のシステム要員が担当システムごとに同一場所で勤務する態勢を整えております。これにより、緊密な連携によるシステム統合作業の効率化をはかるとともに、システム統合時点における新システムの安定稼動に向けた機動的な態勢を実現させます。

### (4) 営業・サービス拠点の移転・同居の状況

統合時までの厳格な顧客情報保護、お客さま対応窓口の明確な区分等適切な措置を講じた上で、本社、支社、事務センターの移転・同居を進めております。

- ① 両社の丸の内地区・新宿地区の本社組織で同一業務を所管している部署の「同居」を進めるべく、2003年8月より順次移転を開始する予定です。
- ② 全国の支社の統合移転については2003年5月より順次実施しており、既に山形支社と静岡支社については5月中に同一ビルへの移転を完了しております。
- ③ 両社の事務センターについては2003年9月より個人保険部門を東陽町（現 明治生命事務センター）、企業保険部門を高田馬場（現 安田生命事務センター）に集約します。
- ④ コミュニケーションセンターについては、2003年3月に明治生命のコールセンターを安田生命のコミュニケーションセンターと同一ビルに移転しております。

以上